

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 30 日

共通目標No.	4	共通目標名	人と文化を育むまち
施策No.	31	施策名	生涯学習の推進
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	南塚 智樹
関係課名	図書館、水族博物館、埋没林博物館		

施策が目指す点	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたり、個々のライフステージに応じ、学ぶことへの意欲や教養を高めています。 ・人と人とのつながりを深めながら学びの輪を広げ、地域活動に参加しています。 ・図書館や博物館から情報が発信され、多くの人が生涯学習の場として活用しています。
---------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習事業に積極的に参加します。 ・自分の経験や学習した成果を地域における教育活動に活かします。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生涯学習の場の確保、機会、情報の提供を行います。
	その他	

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	30 (30)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	8 (8)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	9 (9)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	13 (13)			
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	475,244	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	90,888			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	92,465			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	291,891			
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	66				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	29,340				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	129,067				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	604,311	0	0	0	
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	10,724			
	同上	円	—	—	2,912			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	2,912			
	同上	円	—	—	13,637			
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	13,637				
参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315			

施策No.	31	施策名	生涯学習の推進							
施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取り組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)							
	学び続ける環境づくり		図書館のサービスを充実するとともに、市民の学習ニーズに応じて生涯学習教室や講座を開催し、学ぶ意欲や教養を高めます。また、学びの森交流館を活用して青年活動の活性化を図ります。							
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)							
	図書館資料収集保存事業		図書、雑誌、視聴覚資料等を収集保存し、市民や利用者へ提供します。							
	生涯学習振興事業		社会教育関係者に研修を実施し、生涯学習の振興を図ります。							
	生涯学習教室		学習と交流の場と機会を市民に提供し、生涯学習を推進します。							
	青年活動パワーアップ事業		青年層の活動の活性化を図ります。							
	基本事業①の目的【意図】		学びやすい環境を整備することにより、多くの方が生涯学習を行います。							
	成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
	市民一人あたり図書館貸出冊数	冊	7.93	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
				7.95	8.00	8.05	8.10	8.15	8.20	8.50
	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	20.8	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	20.0	25.0
				7.84	7.84	7.66				
	若者が取り組む自主事業数	件	8	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	13	15
				8	9	10	11	12		
	基本事業名②		事業内容(活動内容)							
	地域の教育力の向上		地域の教育活動の拠点としての公民館を活用して、様々な年代の住民同士が互いに学びあい、仲間づくりへと発展するよう支援します。							
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)							
	公民館運営事業		住民の教養の向上の拠点としての公民館施設の維持管理を図ります。							
	青少年・女性・高齢者教育事業		幅広い年代層の市民を対象に、各種講座を開催し、生涯学習の機会を提供します。							
	放課後子ども教室推進事業		公民館や小学校で、小学生を対象に色々な遊びや伝統芸能、サークル活動を実施します。							
	公民館活動振興事業		公民館で各種教室、地区運動会、敬老会、文化祭を開催し、地域住民の交流を図ります。							
	基本事業②の目的【意図】		公民館で、様々な年代の住民同士が互いに学びあい、仲間づくりを行います。							
	成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
	地区公民館利用者数	人	130,358	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
				130,500	130,700	130,900	131,100	131,300	131,500	132,000
				134,337	140,705	135,480				
	基本事業名③		事業内容(活動内容)							
博物館の充実		より魅力ある水族博物館、埋没林博物館、歴史民俗博物館を目指して、企画展示の充実と施設整備を行います。また、アウトリーチ活動やITを活用した積極的な情報発信に努めます。								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
博物館企画展示事業		各館でテーマを設けて、特別展示を行い、情報発信に努めます。								
博物館改修事業		博物館の修繕やリニューアルを実施し、蜃気楼の情報を全国に発信します。								
蜃気楼ネットワーク事業		蜃気楼交流会を開催し、蜃気楼の情報を全国に発信します。								
アウトリーチ事業		小学生や一般を対象に裾野を広げる契機として出前講座等を行います。								
基本事業③の目的【意図】		生涯学習施設として博物館が役割を果たします。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)							
博物館合計入場者数	人	216,019	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
			217,000	218,600	220,200	221,800	223,400	225,000	230,000	
博物館の企画展と学習会の開催回数	回	31	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	36	40	
			178,540	168,955	188,184					
			31	32	33	34	35			
			31	27	27					
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)							
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	

施策No.	31	施策名	生涯学習の推進
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人当たりの図書貸し出し冊数は、前年度に比べて減少しました。 地区公民館の利用者数は、前年度に比べて減少しましたが、目標値を上回っています。 市民アンケートの結果では、自ら生涯学習に取り組んでいる人の割合は、前年度に比べて減少したものの、目標値を上回っています。 減少傾向にあった博物館の入場者数は前年度に比べ11%増加しています。 		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
	他市と比較していませんが、市内各公民館、天神山交流館、新川文化ホール、みどりの高校で生涯学習講座を開催しており、施設並びに講座も多く、図書館も午後9時まで開館しており多くの利用者が利用しています。		
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)		
	生涯学習に取り組んでいる人の割合が23年度31.2%から24年度24.5%と減少しましたが、今後取り組みたい人の割合は35.9%となっており、今後も引き続き、短期コースを開設するなど、参加しやすい環境づくりに努める必要があると思われまます。		
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ①水族博物館、埋没林博物館、図書館では、定期的に博物館教室や学習会を開催しています。 ②自分の住む魚津市をもっと知るために「ハートフルセミナー」を開催し、地元企業見学も実施しています。 ③地区公民館では、それぞれの地区の特性を活かした講座を開催しています。 ④短期コースを実施したことにより、市が主催する生涯学習教室への関心が高まり、新規の受講生が増えてきています。 ⑤青年活動パワーアップ事業を実施し青年活動の活性化を図りました。 		
	3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)		
<ul style="list-style-type: none"> ①市民の多様なニーズに応えるため、新規講師の発掘、新規講座の開設を進めていきます。 ②市民の学習機会の拡充のため、受講しやすい生涯学習短期コースの開設により新規受講者の増加を目指します。 ③青年活動パワーアップ事業の推進により、青年活動の活性化を図ります。 ④魚津埋没林の埋蔵分布状況の調査を実施し、今後の展示に活用します。 ⑤魚津水族館100周年記念事業を実施するとともに、大型の機械・設備の計画的な更新・修理を行い、入館者数の向上を図ります。 ⑥水族博物館、埋没林博物館の冬季開館日の拡大、図書館の開館日の見直しにより、利用しやすい施設を目指します。 			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> 図書館、中央公民館、地区公民館で行われている各種教室や交流事業は活発に行われており、今後も引き続き、誰もが学びやすい環境づくりの実現のため、施策の水準の維持に努めます。 青年団体、青少年団体、女性団体、高齢者団体等の社会教育活動に対する支援を引き続き実施します。 施設面では、地区公民館の耐震化やバリアフリー化を更に進めて行く必要があります。博物館においては、歴史民俗資料館や埋没林博物館の常設展示を見直すとともに、水族館100周年記念事業など企画展示の充実を図っていきます。 	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◆博物館等が生涯学習の場としてさらに活用されるよう、調査研究活動を進めるとともに、積極的な情報提供を行います。 ◆より魅力的で集客力の高い博物館とするため、展示の充実・更新を図るとともに、施設の改修を進めます。 	